民衆の敵（1946）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 83分
初公開日 1946/04/25

【解説】
八住利雄と山形雄策の脚本を監督した、今井正による戦後第一作。戦時中を舞台に、工場長と財閥との確執を描く。早坂文雄が音楽を担当。
昭和19年、肥料工場主の息子である金子茂は、父から工場を託された。工場は大東財閥の小谷理事長により、軍需工場への転換を強いられていた。大東財閥の化学部門を支配する花園は、軍の幹部や官僚などを顧客とするクラブを経営していた。金子の工場は買収され、実質的な経営は軍人にゆだねられてしまう。ある日、工場の機械が故障するが、幹部は作業の続行を命令。反発した徴用工の大塚は憲兵に傷つけられけがを負った。金子は財閥を糾弾すべく演説をしようとするが、憲兵に拘束されてしまう。

【クレジット】
監督 今井正
製作 本木荘二郎
脚本 八住利雄
山形雄策
撮影 鈴木博
美術 松山崇
音楽 早坂文雄
出演 藤田進
河野秋武
花柳小菊
江川宇礼雄
志村喬
菅井一郎
鳥羽陽之助
清水将夫

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.